



赤井小学校の伝統「赤井いぶき太鼓」

～平成の設立から令和の大修繕，そして未来の子供たちへ～

発行：令和3年1月30日（土）東松島市立赤井小学校 赤井小学校学校運営協議会 赤井小学校父母教師会

2年間の修繕事業が終わり，平成，令和と続く赤井いぶき太鼓は、
赤井の伝統と赤井っ子の笑顔として未来に続きます。



令和2年コロナ禍の運動会 赤井いぶき太鼓28代目（6年生）が今年初めて演奏を披露しました

「感謝」



赤井小学校
校長

佐藤 英樹



本校の教育活動にご協力を賜り心より御礼を申し上げます。

本校では「アカイ5」として、和太鼓活動、大槻俊斎学習、田んぼの学校、SDGs活動、たてわり活動の5つの特色ある活動に取り組んでおります。その中の伝統ある和太鼓活動「赤井いぶき太鼓」が修繕の時期を迎え、学校と学校運営協議会、父母教師会が連携し、基金の健全化計画を策定し修繕に取り組みました。

その中で感じたことは、赤井っ子がどれだけ深く地域の皆様に愛されているか。そして、赤井っ子がこれほどまでに和太鼓活動から、心技体を育み、地域の一員としての誇りを得ているか。改めて和太鼓活動が赤井地区と東松島市の宝であると実感しました。本来なら、ご支援頂きました地域や企業の皆様をお招きして御礼の演奏を披露する予定でしたが、コロナ禍において叶いませんでした。その思いも抱き、本事業に関わった皆様全てに感謝を忘れず今後も邁進して参ります。

「赤井の底力に感謝」



赤井小学校
学校運営協議会
会長

齋藤 英彦

この度の和太鼓修繕にあたり、学区内はもとより、学区外の個人、企業の皆様からも多大なご寄付をいただき誠に有難うございました。また、資源回収に際し、保護者並びに先生方のご協力を頂き心から感謝申し上げます。

今回、あらためて「赤井いぶき太鼓」創設にかかわった諸先輩から、和太鼓活動に掛ける思いをお聞きし、赤井小学校の教育の柱の一つとして、長く伝承させることに大切さを痛感致しました。

和太鼓活動は、豊かな表現力や感性、協調性を育むことを目的としています。心を一つにして演奏する子どもたちの姿は、多くの人々の心を打ちます。赤井地区はもろろんのこと市内のイベント等で演奏を披露し、子供たちは大きな自信と誇りをもって卒業していきます。

これからも赤井小学校の子どもたちに、地域の皆様の温かい眼差しを注いで頂ければ幸いです。



～赤井いぶき太鼓の歴史～

平成27年2月 第22代赤井いぶき太鼓親の会発行新聞より

赤井いぶき太鼓が創設されたのは平成6年の冬のことでした。きっかけは赤井小学校創立120周年記念事業に一環として「諸先輩の方々が築き上げた素晴らしい校風を受け継ぐとともに、さらなる新しい伝統を目指して、感性豊かな赤井っ子を育てていくための事業は何か？」を検討して誕生しました。当時の父母教師会長渥美耕太郎様と当時の小野寺邦義校長、和太鼓指導者である関義徳先生ら、そして当時の父母教師会の役員が中心となり、赤井地区全体をその輪が広がり創設されました。

＜和太鼓創設の基本的な考え方（120周年記念誌より）＞

赤井小学校と赤井小学校父母教師会では、この機会に「子供たちの自ら活動で継続するものを記念に残したい。」と考えました。子供たちの発達的特質を十分に踏まえながら、いろいろと模索した結果考えられたのが「和太鼓」の創設です。「和太鼓」は子供の成長にとって、特に、小学校時代の豊かな感性（感情、意欲、特性）を育てるのに非常に大きな教育効果があると言われています。この活動が未来の可能性を引き出すことを期待しています。



創設から指導いただいている関先生（R2）



市のイベントにも多数出演（R元）



6年から5年へ和太鼓引継ぎ式（H27）

「令和元年12月（昨年度）の校長室だより」より

太鼓の伝承～上級生から下級生へ～



1年生は学年PTA行事でも実施しました



6年生から5年生へ伝承（いぶき太鼓）

毎年、「たてわり活動」の良さを生かして、上級生が下級生へ教えます。

校長室の机に座っていると「タン、タン、タン、タ、タ、タン」と天井から硬いものを叩く音がします。調べてみると校長室の上の階の1年生が2年生から豊年太鼓を教えてもらい、練習をしていました。12月になり豊年太鼓やぶち合わせ太鼓を上級生が下級生に伝承する活動を行っています。また、朝に体育館の電灯がついているので足を運ぶと5年生8人がいぶき太鼓の自主練習をしていました。小職から「偉いね。さすが5年生！」と声を掛けました。

「ふるさとの歴史と伝統」



赤井小学校
父母教師会
会長

高橋 洋介

新年あけましておめでとうございます。

また、日ごろより赤井小学校父母教師会諸活動に対し、御理解と御協力を賜り、深く感謝し、厚くお礼申し上げます。

発足当時の関係各位の熱意と諸先輩方の魂を受継いだ子供達。ふるさとの歴史を継承するために、太鼓の寄付金（修繕の必要性）について御理解をいただき、多大なる御協力をいただいた地域及び事業所の皆様。御指導いただいている関先生をはじめとする関和太鼓センターの皆様。修繕していただいた

（株）川田太鼓工房様。コロナ禍の中、発表会開催に向けて御尽力いただいた佐藤校長先生をはじめとする諸先生方。保護者を代表し、皆様に深く感謝し、厚くお礼申し上げます。

児童たちは、ふるさとの歴史と伝統を受継ぎ感謝の気持ちを含めて未来に誇れる演奏をしてくれると思いますので、温かい御声援をお願いいたします。

～令和2年度 6年生 川田太鼓工房（福島）訪問～



写真上：演奏後工房の方々との記念撮影
下：社長へ児童から感謝の寄せ書き

＜いぶき太鼓28代目のプライドを披露＞

11月初旬に6年生が会津・猪苗代方面へ修学旅行に行きました。
今年の修学旅行は例年と違う行程がありました。それは和太鼓を作っている「川田太鼓工房（南会津郡）」を訪ねて、和太鼓改修のお礼にいぶき太鼓を演奏することです。会場には工房の平野社長、社員の方、指導者である関先生をお迎えし、いぶき太鼓初代からこれまで代々の卒業生が受け継いできた思いを背負い、令和2年度6年生が28代目のプライドをかけた演奏を披露しました。
平野社長より「演奏に全力で取り組む姿から、皆さんの一生懸命な熱量が伝わってきました。ありがとうございました。」と、うれしいお言葉をいただきました。披露の様子はKFB福島放送に取材され、次の日に放映されました。
（コロナ禍で祭り等の出演が無い今年、28代目6年生は「ピンチをチャンス」に変えて初の県外御礼演奏を行いました。）

ゆるキャラ「さくら だいこ君」紹介

赤井いぶき太鼓の長い歴史の中、令和元年度に、ゆるキャラができました。作者は遠藤弥太郎君（現6年）です。現在3パターンの絵柄があり、便り等で使用しています。



「伝承」



赤井小学校
 父母教師会
 顧問（前会長）
 齋藤 直仁

和太鼓発表会開催にあたり、保護者の皆様、地域や企業の方々に、ご支援とご協力をいただきました。誠に有難うございました。心より感謝申し上げます。

赤井小学校では、和太鼓の活動を通して、本校児童の健全育成や地域貢献を果たしております。

運動会や赤井地区の夏祭り、東松島市夏祭り、とっておきの音楽祭など、様々なイベントやお祭りで披露し、子供たちは豊かな感情を育み、地域の一員としての自覚が育成され、必要な教育活動として認められています。

創設から、多くの卒業生が演奏してきた「赤井いぶき太鼓」の伝承を絶やさぬよう、これからも和太鼓活動に、皆様のご理解と、ご協力をいただきながら、地域と共にある学校作りを推進し、継続して行ければと思います。





「赤井いぶき太鼓」和太鼓修繕の経過



【令和元年】 4月 赤井いぶき太鼓伝承推進基金の減少問題協議

5月 課題の共有化

- 三者会（齋藤英彦学校運営協議会長，齋藤直仁父母教師会長，佐藤校長），（以後，不定期に開催）
- 和太鼓設立からの基金の収支状況調査 ②他校の太鼓，鼓笛隊の運営状況調査 ③市教育委員会へ相談

5月 保護者へ報告（運動会）

- 基金のひっ迫状況と協力を依頼

7月 第2回コミュニティ・スクール（CS）学校運営協議会の議題とする

- 調査結果の報告（収支状況・運営状況）と今後の資金集めについて
- 和太鼓備品台帳の作成，和太鼓修繕の見積もり等

8月 地域へ報告（地区夏祭り）

- 上区，中区，下区，南区で現状報告と募金活動（三者会）

9月 第3回CS学校運営協議会，PTA五役会で協議

- 募金と資源回収等の取組状況の報告

11月 PTA主催 和太鼓修繕資金資源回収

- 和太鼓改修資金54,200円が集まる

12月 第4回CS学校運営協議会，PTA五役会で協議

- 取組状況の報告と基金健全化計画作成の提案

【令和2年】

1月 第5回CS学校運営協議会，PTA五役会で協議

- 赤井いぶき太鼓伝承推進基金健全化計画の承認（寄付活動，目標金額，会費増額等）

2月 PTA五役会・PTA本部役員会 寄付活動実施方法の協議

- 赤井区民全世帯への寄付金依頼（目標45万円 募金・資源回収を含めて85万円必要），趣意書作成

3月 寄付金依頼活動，市民センターだより「夢見」，市内施設にポスター，掲示等広報開始

- PTA五役と地区委員を中心に各地区PTA会員が家庭訪問。赤井地区協議会（自治会長会議）で説明。しかし，開始と同時期に新型コロナウイルス感染症流行（活動一時停止）※3月2日緊急事態宣言発令

5月 寄付金活動終了

- お礼状，感謝状等配布。保護者，区民，赤井地区協議会へ寄付金収支報告。その後も寄付金が学校へ届く。

6月 和太鼓修繕依頼 ※川田太鼓工房へ修繕依頼 ※修繕内容は以下参照

- 三者会（齋藤英彦学校運営協議会長，高橋洋介父母教師会長，佐藤校長）で修繕の再協議（修繕拡大へ）

11月 6年生 修学旅行で川田太鼓工房様（南会津）にお礼の演奏披露 和太鼓修繕資金資源回収

【令和3年】 1月 和太鼓修繕記念 和太鼓発表会開催 ※コロナ禍，会場や参集者等を縮小して開催

収穫祭ができなかった「田んぼの学校」（5年生）で収穫した餅米で，お祝いの紅白餅を配布



上：CS学校運営協議会 下：資源回収

和太鼓改修の収支報告

◆収入	寄付金	1,968,193円	508名・社	(1,968口)
	募金等	226,632円	夏祭り募金，資源回収	
	合計	2,194,825円		
◆支出	修繕費	1,588,071円	皮張り替え，取っ手交換，買い替え等	
	事務費	10,969円	寄付依頼用封筒・用紙・インク	
	合計	1,599,040円		

◆残金 595,785円は，今後の備品修繕費に活用させていただきます。

<令和3年1月現在>

寄贈・修繕の内容

- ◆長胴太鼓1台を新品に川田太鼓工房様のご厚意
- ◆長胴太鼓 10台
張り替え 研磨・塗装
取っ手交換 名入れ
- ◆締め太鼓
買い替え3台
費用の一部は関和太鼓センター様のご厚意
張り替え2台

【あとがき】 僕は幸せです。皆さんのおかげでピカピカになりました。僕はこれまでたくさんの赤井っ子に喜ばれ、そして、地域の皆様にも喜ばれてきたと思っています！たくさん叩かれてちょっとくたびれたけど、皆さんのおかげでこれからも頑張ることができます。何より赤井っ子のみなと一緒に演奏できるのがうれしいです。ありがとうございました。そして、頑張ります。（さくら だいこ より）修繕により持続可能な教育「SDGs活動」が推進できます。「俊斎先生」を江戸へ送った赤井の風土が生んだ令和の大修繕になりました。